

自前のキッチンカーお披露目

市内のイベント 会場などに出店

「豊橋百農人」

東三河で農林水産業のブランド化などに取り組む生産者グループ「豊橋百農人」のキッチンカーが完成し、12日、豊橋市役所でお披露目された。今後は市内のイベント会場などに出店する。

これまでのレンタカーで運用していた車両に加え、自前のキッチンカーを調達。軽トラックの購入・改造費180万円のうち半額を市が補助した。

必要に応じて車内

に様々な調理器具を持ち込み、20品目を提供できる。災害時には優先的に炊き出しなどに協力する。お披露目に合わせてこの日のお昼時、地元産のじゃぶじゃぶ豚肉に白ネギを

まぶし、甘辛のたれで仕上げた「ねぎさら百農人ポーク丼」や、豊橋産イチゴとブルーベリーをシャベット状にした「とよはしスムージー」などを来庁者や市職員に販売。用意したポーク丼200食とスムージー50杯は40分ほどで売り切れた。

好調な出だしに、鈴木義弘代表(43)は「まずは東三河の農業を地元でPRした上で、全国に向けて発信していきたい」と意気込んだ。

今後は14日に豊橋駅前で開かれる歩行者天国を皮切りに市内のイベント会場などに出店する予定。

(中嶋真吾)



新調されたキッチンカー(豊橋市役所市民広場で)